

第 16 営繕・施設改修

公共建築物の新設

県の各庁舎をはじめ、県立の学校、医療福祉施設、文化施設などの公共建築物の新設、増改築等を行っています。

建築物の整備にあたっては、すべての人が公平に、安全に、安心してそして快適に利用できるようユニバーサルデザインの導入、太陽光発電や雨水利用による環境負荷の低減等に取り組んでいます。

設計過程においては、より少ない建設費で最大限の機能を発揮し、施策の目的を効果的に果たすことができるよう配慮しています。

平成 22 年度には、県立千葉高等学校中学生棟、清和県民の森ロッジ村炊事棟等が完成しました。



県立千葉高等学校中学生棟



清和県民の森ロッジ村炊事棟

既存建築物の改修

県が保有する公共建築物には築後 30 年を経過したものが多く、経年による老朽化が進んでいます。これらの建築物を有効・安全に使用し続けていくために、傷んだ部分の補修や改良をする『改修工事』、地震による被害を軽減するための『耐震改修工事』などを行っています。

また、近年、『誰にでもやさしい建築物』が求められていることから、環境に配慮した設計・工事の実施をはじめ、ユニバーサルデザインの導入、新たな行政ニーズに対応した既存施設の用途変更等によるリニューアル活用、長寿命化及びライフサイクルコストの削減等について積極的に取り組んでいます。

平成 22 年度は、耐震改修工事として県立成東高等学校校舎、千葉県文化会館聖賢堂等を施工しました。



県立成東高等学校校舎（耐震補強）



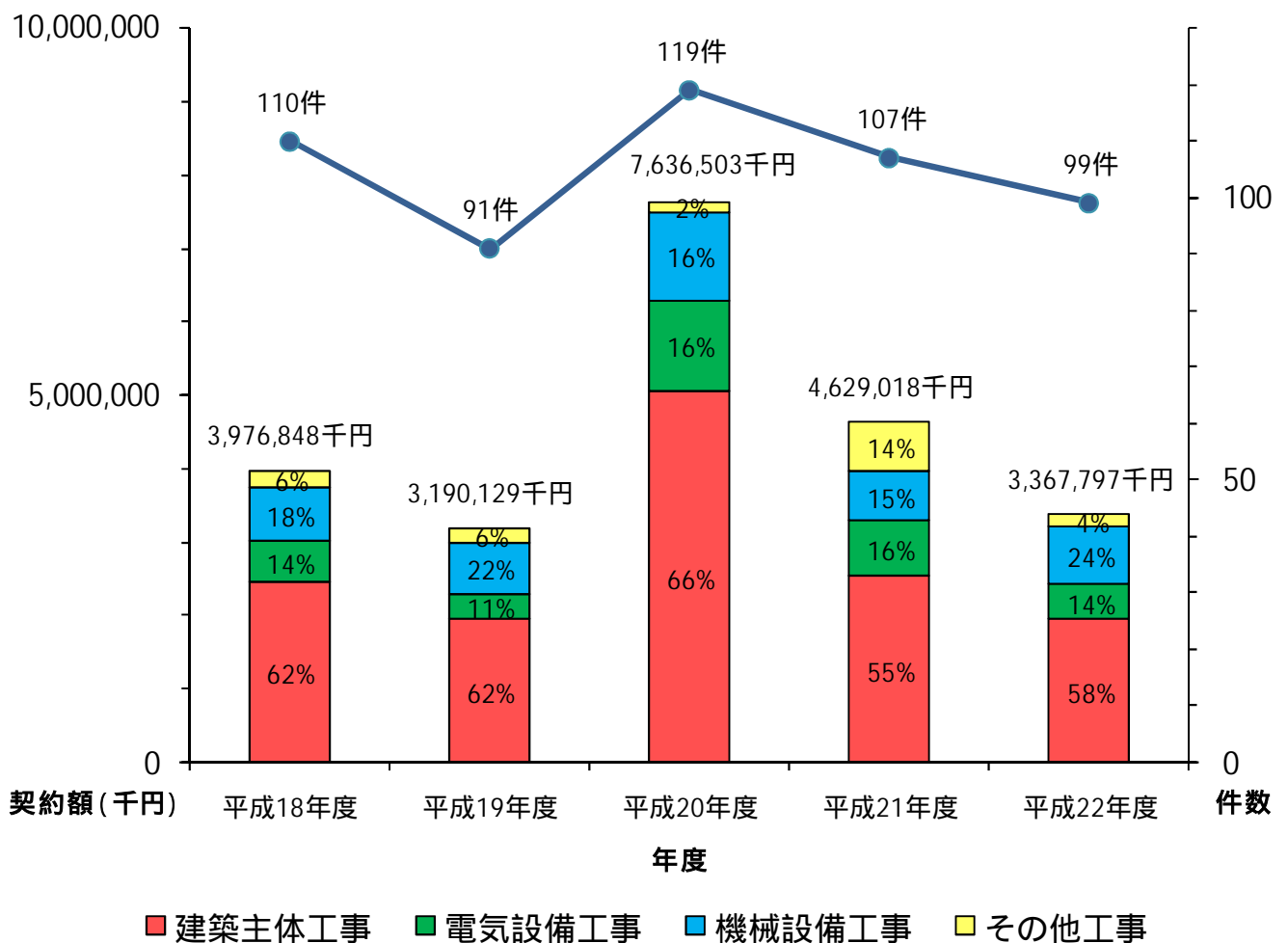
千葉県文化会館聖賢堂（耐震補強）

営繕工事の実績

営繕工事件数及び工事費の推移

(金額単位：千円)

年度	総計				建築主体工事		電気設備工事		機械設備工事		その他工事	
	件数	対前年度比	金額	対前年度比	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
18	110	107%	3,976,848	115%	43	2,466,913	18	548,549	39	727,907	10	233,479
19	91	83%	3,190,129	80%	33	1,966,271	22	335,547	31	699,644	5	188,667
20	119	131%	7,636,503	239%	37	5,057,519	31	1,234,634	42	1,207,709	9	136,641
21	107	90%	4,629,018	61%	44	2,545,334	20	743,196	35	685,238	8	655,250
22	99	93%	3,367,797	73%	40	1,952,954	20	476,625	35	797,758	4	140,460



(注) 2か年以上にまたがる大規模な工事の場合は、発注年度(当初年度)に一括して計上しています。